

県立図書館のあゆみ

明治39年 3月24日	岡山県立戦捷記念図書館として岡山市石関町垂公園に設立。
明治41年 3月 4日	岡山県立戦捷記念図書館の開館式実施。
大正12年 3月 1日	岡山県立戦捷記念図書館を岡山市西中山下49番地に新築（本館2階、書庫4層、総坪数565.5坪）し移転する。
大正12年 4月 1日	岡山県立戦捷記念図書館を岡山県立図書館と改称する。
昭和 8年10月 6日	中央図書館に指定される。
昭和20年 6月29日	戦災で全建物及び蔵書約16万冊を焼失する。
昭和21年10月 1日	岡山県立倉敷図書館開館。
昭和22年11月18日	岡山市石関町天神山に仮館舎を落成し、移転する。
昭和25年 3月23日	岡山県視聴覚ライブラリーを岡山市石関町天神山に落成する。
昭和25年12月 8日	CIE（民間情報教育局）図書館開館。
昭和26年 3月20日	岡山県中央図書館を岡山県立図書館と改称する。岡山県立倉敷図書館を廃止し、県立図書館倉敷分館と改称する。
昭和27年 1月15日	きび1号車（移動図書館車）の巡回を開始する。
昭和28年12月 1日	CIE（民間情報教育局）を日米文化センターと改称する。
昭和32年 7月 9日	岡山県立図書館、視聴覚ライブラリー、日米文化センターをあわせて岡山県総合文化センターと改称する。
昭和36年 4月26日	新館舎建築を起工する。
昭和37年 6月14日	新館落成開館式実施。
昭和37年 6月18日	新館一般公開閲覧開始する。 総務課・整理奉仕課・文化課・日米文化センターの4課を新設する。
昭和40年 5月15日	文化センター友の会設立。
昭和41年 9月 1日	へき地児童巡回文庫巡回を開始する。
昭和43年 3月31日	倉敷分館を廃止する。
昭和46年 2月25日	特許法改正による公開公報類閲覧所に指定される。
昭和47年 9月19日	日米文化センターの名称を国際課と改める。
昭和51年 9月20日	岡山県総合文化センター図書整備基金制定される。
昭和51年12月 1日	身体障害者に対する図書の郵送貸出しを開始する。
昭和52年10月31日	岡山県立図書館創立70周年・岡山県総合文化センター設立20周年記念式実施。
昭和62年 8月 6日	岡山県総合文化センター再編整備検討委員会（岡山県教育長諮問機関）設置される。
昭和62年11月19日	岡山県総合文化センター30周年記念式実施。
昭和62年12月26日	岡山県総合文化センター再編整備検討委員会から県教育長に答申される。
昭和63年 9月 8日	岡山県立図書館基本構想の策定を日本図書館協会へ委託する。
平成元年 5月 9日	岡山県立図書館基本構想（案）が岡山県教育委員会から公表される。
平成 2年 2月 5日	岡山県立図書館・公文書館建設基本計画（案）が岡山県教育委員会・岡山県から公表される。
平成 5年 1月14日	岡山県立図書館・文書館基本設計発表される。
平成 8年 3月 1日	図書館部門にコンピュータシステムを導入する。

平成 8年 5月29日	市町村立図書館とのオンラインネットワーク始まる。
平成 9年10月29日	岡山県総合文化センター40周年記念式実施。
平成 9年12月	岡山県立図書館建設場所と基本計画の見直しを図る。
平成10年 6月 4日	岡山市立丸之内中学校跡地を県立図書館単独の建設候補地と決定する。
平成10年 6月 4日	公開公報閲覧所が廃止される。
平成10年 9月 4日	岡山県立図書館基本構想が岡山県立図書館基本構想策定委員会から県教育長に答申される。
平成11年 4月	岡山県総合文化センター蔵書検索システムをインターネット上に公開する。
平成11年 7月15日	岡山県立図書館基本計画が岡山県教育委員会から公表される。
平成11年11月	分散型総合目録検索システムのギガビットネットワーク実験を開始する。
平成13年 5月17日	分散型総合目録検索システムの運用を開始する。
平成13年12月	文化センター所蔵のデジタル資料（絵図・和装本）をインターネット上に公開する。
平成14年10月4日	新岡山県立図書館の起工式を行う。
平成14年11月15日～17日	全国マルチメディア祭in岡山にて「デジタル岡山大百科」のデモを公開する。
平成15年 4月23日	図書館資料搬送事業を開始する。
平成15年 9月 1日	「インターネット予約貸出サービス」を開始する。
平成15年10月 1日	岡山県図書館間相互貸借システムが稼働する。
平成16年 3月31日	岡山県総合文化センター閉館。 岡山県立図書館が竣工する。
平成16年 9月25日	岡山県立図書館が開館する。 「デジタル岡山大百科」が正式稼働する。
平成17年 2月 1日	資料相互返却サービスを開始する。
平成17年 7月 1日	岡山県立図書館メールマガジン配信サービスを開始する。 携帯電話による蔵書検索・予約サービスを開始する。
平成17年 9月 3日	開館から277日目に来館者が100万人に達する。